

# IORI

THE DARK SIDE OF THAT GIRL

実は私、毎日犯されてました…

REDLIGHT

私は善月伊織  
恋と演劇に一生懸命な  
普通の女子〇生です

うん  
こっちは  
大丈夫だよ…

うん…  
じゃあね…

でも…  
私には誰にも言えない  
秘密があるんです

おやすみ  
ママ…

パパも  
手伝って  
くれるから…

うん…

この日…  
私の人生は大きく狂って  
しまったんです…

母が入院して  
ちようど一ヶ月…





もう少ししたら  
退院できるのかな……

イキッ



良かった……  
ママ元気そうで



カチャ……  
そしたら  
また3人で……



きゃあつ!!

い……いやっ  
パパっ



パパ……?

え……?



外に出すから…  
なっいいいだろっ  
すぐに終わるっ

…一回で  
いいんだっ

やだあつ

どうして…!?

やめて…っ  
ババア!!

ぐわんぐわん



どうして  
ババが  
こんなこと…

伊織っ…  
この尻が…

ハッ

ハッ

しゅあぁい



私の身体に  
貪りつく  
義父の顔は  
別人のように  
歪んでいました…

まるで悪い夢でも  
見ているようでした

い…  
入れるぞ  
…っ

…っ!!

ひっ!!  
ババっ  
だめ…っ

ダメッ…!!

ぐわんぐわん

ぐわんぐわん



ズ  
ン

い……っ  
だあ……っ

伊織い……っ

あ……っ

きやん……

パパ……  
抜いてえっ

ああっ  
たまらんよ  
伊織……っ

は……っ  
は……っ



でる……っ

いや……あ

あくイク!!  
イクぞお  
おおおっ!!!

だす……ぞっ

ああ……  
い……ん……っ

は……っ  
は……っ

は……っ  
は……っ

ひゅ

ひゅ

ひゅ

ひゅ

それからしばらく  
あまりのショックで  
ずっと放心状態で……

気付くともう部屋に  
義父の姿は  
ありませんでした

身体を伝う  
義父の精液が  
まだ生暖かった……



次の日……



おはよう  
伊織

義父はいつもと  
同じように  
私に接してきた……

まるで何も  
なかったかの  
ように……



もうすぐ  
パン焼けるから  
座ってなさい



……

……うん

私は何も言えなくなっ  
てしまいました……  
忘れたほうがいいんだ……  
悪い夢だったんだ……  
そう思うことにしたんです

それが最悪の結果を招く  
とも知らずに……

数日後、  
悪夢の続きが  
始まりました…

義父は異常に  
興奮していた…

入って  
来ないでよっ

ちよっと…

い…やっ  
やだ…っ

怒るよ  
パパ…ッ

ハハハ…  
恥ずかしがら  
なくても  
いいだろ？

そうだろ  
伊織っ…

たぶん義父は私が  
そういうことをされても  
平気な子だと勘違い  
したんだと思います…

私が何も言わないのを  
いいことに  
義父はまた私の体を  
求めてきました…

や…めっ

おっ…っ

パパの  
こいつがっ

あッ

お前もっ  
パパのこれが  
忘れられ  
ないんだろっ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ

ビュッ





どうせ彼氏と  
ヤリまくって  
るんだろ?  
え!!



パパはお前を  
そんな子に  
育てた覚えは  
ないぞっ

うあっ  
いやらしい  
娘だっ



中が...  
いいのか!?

うう...っ  
出るっ

だ...めっ

だめ...っ



ちっあ...  
あんっ♡

パパにチンコを  
突っ込まれるのが  
そんな  
嬉しいのかっ

はうっ♡



ぐっ...!!!

ヒキヤッ

出るっ



出る...っ





フッフッフ  
伊織…  
エロい娘に  
なったな…

善父は私に  
卑猥な言葉を言わせる  
のが好きで…

言うのアソコが  
膨張していく  
んです…

いやらしい…  
お尻…  
し…てて  
こめ…んなさっ

パパ  
嬉しいわっ

パパッ…

たいやん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん



ああ  
伊織っ

すごく嫌で  
恥ずかしいけど  
そうすると  
早くイッて  
くれるので…

伊織のっ  
オマ…ユでっ  
イって♡  
パパのっ  
ちん…ほ汁っ  
…出…して♡

積極的に  
言うように  
しました…



ただ早く終わらせる  
ことだけを…  
それだけを考えるように  
なっていた…

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん

あん



私はただ  
従い続けた...

誰にも相談なんて  
出来ませんでした...

おお...  
で...  
出るっ



義父の要求は  
日に日に  
エスカレート  
していき...

ああ  
いいぞお  
伊織...



こう...  
するの？

母がこんなこと  
知ったらショックで  
死んじゃうかも...

うっ...そう  
パパの顔  
見ながら  
先っちょ舐めてっ

幸い演技は  
得意なので  
内心どんなに  
辛くても  
気付かれずに  
済みました...

病氣と闘っている  
母には絶対に  
知られたくなかった  
から...



あ...  
心



くっ...  
出るぞっ

母が良くなる為の  
試験だと思えば  
どんなことでも  
耐えられる...

イク...つつ  
ああああっ!!

でも、もっと残酷な裏切りが私を待っていました

学校から帰るとなぜかいつも仕事で遅く帰る義父が家に居て……

その瞬間家の空気がいつもと違うことに気付きました……

おかえり伊織……

ただいま……

義父に乱暴されるのはもう慣れたはずなのに……

私はその異様な空気を振り払うように……自分の部屋に飛び込みました

バタン

どうして……こんなに体が震えるの……？





へへ…  
パパといつも  
楽しんでん  
だろ？

や…めて  
下さいっ

いやああっ

おとなしく  
しろよっ



ヒへへーッ

やだあっ

いやあっ

俺達も  
楽しませて  
くれよ!!

きゃあっ

義父の会社の同僚だと  
後で聞かされました

酒の席でうっかり  
私との行為を  
話してしまい  
一度やらせろと  
しつこくせがまれた  
そうです…



それまで…  
あんなことをされても  
心のどこかでまだ  
義父を信じていたのに…







あゝあゝ...  
中出しは無しくて  
善月さんに  
言われてた  
でしょう

熱いものが...

おあゝ...

私の中で  
噴き出てる...

おあゝ...



哀願もむなく...

男のペニスが  
私の中で  
激しく脈動した...



どうしよう...  
ママ...



出されちゃった  
... 膣内...



俺も中に  
出していい？  
伊織ちゃんっ

妊娠しちゃう...

いいよねっ

出し  
ちゃうよっ

助けて...  
誰か...

暗闇に沈む意識...  
私の中の何かが  
.....

壊れた気が  
しました...

今日は二人…

靴の数で今日の相手の数が分かります

おかえり〜 待ってたよ

一人の時もあれば五人の時もあります…

ほとんどが初めての人ですが何度も来る人もいます

さあ 入って…

でも、相手がどんな人だろうと私は平気でず

あの日以来、もう恐怖も悲しみも感じなくて済むようになったから…

話は聞いてるよ 可愛いのにすこい ヤリまくってるらしいね〜 今まで何人とHしたの？

…分かりません

ヒヒヒ…

よっほどコレが好きなんだね

あの時 私の中に…

うまそうにしゃぶるねえ…

ちゅ〜〜♡

はっっん KRR

おお…お

もう一人の人格が 生まれたんです…





義父はもう一人の私の存在を知らず…

私が本当にセックスを楽しんでいと思うてるようです

今日の相手はTVでよく見るすごく有名な政治家さん…



自分がこれからどんな風に犯されるのかワクワクしてます



もう一人の私はこういう脂ぎった加齢臭のするオジサンが好きみたいです



それでは存分にお楽しみ下さい…

ああ…そうきててむらじや



ご主人様…♡

可愛い子猫ちゃんだねえ…





君は最高だよ... わしの妾にしてやってもいいぞ...

あんっ♡  
ありがとうございます♡  
ございませう♡



ご主人様...  
伊織のおっぱいマ○コ  
気持ちイイですか?

あっ♡

おおっこれは...  
なかなか...



ぜっ...  
全部っ  
飲みなさい  
いいねっ!!!



おいひ...♡

ああっ  
舌まで...  
ぐぬぬ...  
だ...駄目だっ



えへ♡

おチンポもって  
気持ち良くして  
あげる...♡

キョウ...





ああ……  
すこい……

あ……

わしの子を……

孕ませてっ  
やるからなっ……

ありがたくっ  
思いなさいっ

なんか……  
キチャ……  
イクぞっ  
おお……

いっばい……  
射精てるっ

気持ちいいよ……

あ……

だっ  
してえっ……

あ……

ほいっ……  
くだ……  
……



イツ……  
イク……

きもちいい……  
い……

それから……  
義父達も加わって  
何度もイカされ  
続けました……

もうどっちでも……  
気持ち良すぎて……  
何も考えられない……

この時はどうかしてたんです  
私はこんないやらしい子  
じゃない……  
でももういい……  
もう終わったことだから……



すこいこと  
されてるんだ  
私……

出るよっ  
伊織……

私……違う  
もう一人の私……  
あれ……  
どっちだろう……  
ああ……  
気持ちいい……





長い悪夢は  
母の退院で嘘のように  
あっけなく終わりを  
告げました

あなた  
コーヒー  
入ったわよ

：ああ  
ありがとう

もう義父に  
襲われることも  
見知らぬ男の  
相手をさせられる  
こともない……

……  
もう一人の私も  
消えていきました

義父はしばらくの間  
怯えていたようです……  
今更になって  
自分の犯した過ちに  
気付いたのか……  
それとも母に  
自分の過ちを知られる  
のを恐れていたのか……

コーン



母は何も知りません  
当然私も  
言うつもりはない……  
やっと帰ってきた  
平凡な日々を  
壊したくないから……

奇跡的に妊娠も  
しなかったし……  
心の傷もいつかは  
癒えると思う……

何もかも  
元通りになるんだ  
……



情報室

アイダアノート  
T'S SKET



あ〜っ♡

あ〜っ♡

お兄ちゃんの…  
おチンポ  
最高…っ♡



あはあ♡  
おっばい  
ちぎれちゃう♡

伊織ちゃん  
今度はどっちの穴に  
ぶち込んで欲しい？

…えへえ  
もっど…  
いじめてま♡

ヒビビ…  
気持ちいい  
んだろう？



おいおい  
勘違いしないでくれよ  
伊織ちゃん~~~~ん  
こんなモノが世に出回ったら  
大変だろ？  
だから俺が伊織ちゃんの為に  
親父からかっぱらってきてやってたんだ  
伊織ちゃんの為にさあ

私じゃ…  
ない…っ

ちが…う  
これは…

へへ…  
可愛い顔して  
すげえコト  
してんじゃん？



心配すんなって  
バラしたりしねえよ  
…ちよっとばかり  
お札してくれたら  
黙っててやるから

サービスしてくれよ  
親父にしたように…  
このエロい体でな……



あいつも  
悲しむだろうなあ  
君がこんな  
ヤリマンだって  
知ったら…

Fin……？

## あとがき

お久しぶりです。または、初めまして。

ブログで伊織を描いて欲しいというご要望がありまして、後に後悔することも知らずじゃあ描きますと軽く約束してしまい、何度となく挫折を乗り越えてやっとこさ形にすることが出来ました。

遅くなったけどとりあえず約束を守れて良かったです。

ア○ズはかなり昔の漫画ですが今でも根強い人気（特に伊織が）があって、知らない人はいないと思うのですが、知らない人でも楽しめるように伊織以外は原作のキャラを出さないようにしたり（ちょこっと描いたけど…）

内容的にも原作を知らなくても普通の近親相姦モノとして楽しめるかと。

絵についてですが、伊織を似せて描くのがとにかく大変でした。

これを描くにあたって原作を一度読み直してみたんですが、

キャラがすごく繊細に描かれていてあらためて桂大先生はすごいっ凄すぎる！

と思いました、特にお尻のこだわった描き方なんて芸術の域に達してますよ。

あんなクオリティのものを週刊で描けるんだから漫画家さんは本当にすごいです。

なんとか伊織の特徴を盗もうと穴が開くほど見てみたんですが、

伊織の顔って特徴があるようでないというか…。

こう描けば伊織になるっていうのがなくて、結局似てるような似てないような中途半端な伊織になりました。

描き終わってもっとこうすれば良かったと思うところが色々あるんで、

もし続編を書くことになれば反省点を生かしたいと思います。

クラスメートの子を巻き込んでも面白いかも。

特に泉ちゃんが個人的に好きなので伊織と泉をメインに…。

約束はしません。もし書くことになればというだけで。

これを描いてる間、いくつか描きたいものが溜まってきたので先にそっちからやろうと思ってます。

DLサイト様の所でブログもやってますので、そこに感想等を寄せていただけるとありがたいです。

最後まで読んでいただいてありがとうございました。